

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間 4	履修区分	選択	使用教科書	
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等	

学習の目標

昨今で多発しているインターネット上でのトラブルについて、具体的な事例を挙げながら騙されないための対応や気をつけるべき点、巻き込まれてしまった場合の対処法について考察する。  
 インターネットの匿名性を理解し、詐欺や性犯罪など犯罪行為に対する警戒心を養う。さらに、SNSなどを使用する際、顔の見えない相手に対する個人情報の取り扱いについて理解し、実際に起きたトラブルを参考に対応策を考えることができる。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得	（認定）に当たったの基準
評価方法	各單元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導	面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票	観点		評価規準	
安全にインターネットを活用するための知識と心構え	1	①	I・II・III期				知識・技能	実際に身近で起きているインターネットにまつわるトラブルについての調査結果を目的に応じた適切さで正確に収集・理解していた。インターネットを使ったコミュニケーションにおいて発生しやすい問題について学び、正しい利用のためには、冷静な対応や節度を守った使用など、リテラシーを身に付けることが大切であることに気付くことができた。
							思考・判断・表現	課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができた。インターネットにのめり込んでしまったり不適切な使用をしてしまう事象を比較し、因果関係を推測して整理・分析することができた。相手や目的・意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って学習や生活に生かしている。
							主体的に学習に取り組む態度	実際にインターネット上の誹謗中傷の被害にあわれた方の心に寄り添うために、他を思いやる視点に立って、自分自身はどう振る舞うべきか考察することができた。インターネット上において加害者または被害者という状況に置かれてしまったという事例について学んだ上で、突然自らも当事者となってしまう可能性があるという自覚をもち、正しい使用方法について模索しようとしている。